

## 資料3

### 前回の審議会の指摘事項及びその対応

No	ページ	意見・要望	対応
1	7	重点拠点を他の表現に変更した方が実情に合っているのならば、変更を検討した方が良い。	当初戦略、第二期戦略を確認したところ、当初戦略では「重点地区・拠点」と表記していましたが、第二期戦略では、「重点地区・拠点」、「重点地区」、「重点拠点」と表現が混在しているため、第三期戦略では「重点地区・拠点」に統一し、「重点地区」と「拠点」の説明を表記しました。
2	15～32	第二期戦略の重点拠点での取組の振返りで、多くの拠点を啓発や保全が出来ていないと記載してあるため見直しが必要である。	民有地等で積極的な取組が出来ない拠点でも重点プロジェクトの一つであるモニタリング調査は継続して実施している旨を記載しました。
3	26・30	モニタリング調査のルートマークした資料があると分かりやすい。	モニタリング調査結果報告書にはすべての各拠点の調査ルートを記載しています。調査項目によって調査ルートは異なり、周辺環境の変化により調査ルートを変更している場合があることから、すべての調査ルートを戦略に記載しないことにしました。ただし、野々下水辺公園周辺は野々下水辺公園自体を調査していないこと、みやぞの野鳥の池、坂川、熊野神社周辺の森は、それぞれの調査場所が離れていることから、戦略にルートを記載します。
4	35・56	地図に乘せる路線図は、JRと私鉄を区別して表示し、至柏、至守谷など表示すると分かりやすい。	対応しました。
5	－	第二期の振返りが戦略の多くを占めているため、第三期をメインとなる戦略を作成する必要がある。	記載内容を見直しました。